

映画で 旅する イタリア 2016

4/26(火)・5/30(月)・6/21(火)
7/26(火)・8/30(火)・9/27(火)

渋谷UPLINK

www.uplink.co.jp

主催・京都ドーナツクラブ
後援・イタリア文化会館 東京



4/26(火) 19:30

『モスクでピッツァ!?』

Pizza e datteri

2015年 / イタリア / カラー / 92分

監督: ファリボルツ・カムカリ 配給: ADRIANA CHIESA ENTERPRISES

突如モスクを追い出されたヴェネチアのイスラム教コミュニティ。あろうことか、その場所はド派手な美容室に変貌する。神聖なモスクを取り返すべく送り込まれたのは、イスラム教の若き指導者サラディーノ。心優しい彼は、ヴェネチア生まれのイスラム教改宗者ペービラとともに、困難に立ち向かう。そのペービをコミカルに演じるのは、国内最大の映画賞ダヴィッド・ディ・ドナテッロで三度に渡り助演男優賞を獲得したジュゼッペ・バッティストン。ヨーロッパ全体がテロの脅威に揺れ動く中で封切りされた本作。クルド人監督のファリボルツ・カムカリは「このデリケートな主題を扱うには、コメディしかないと思った」と語っている。

日本
初公開



©2015 BOLEROFILM

5/30(月) 19:30

『ローマの教室で～我らの佳き日々～』

Il rosso e il blu

2012年 / イタリア / カラー / 101分

監督: ジュゼッペ・ピッチョーニ 配給: クレストインターナショナル

ローマの公立高校に勤務する異なるタイプの三教師と、生徒たちの交流を一年間に渡って描いたヒューマンドラマ。キャストは名優揃いで、校長をマルゲリータ・ブイ、新米熱血教師をリッカルド・スカマルチョ、やる気のない老教師をロベルト・エルリツカが担当。生徒たちのほうも、大人びた派手好き女子、ルーマニア移民の優等生、母親に捨てられ体育館で眠る男子生徒など、多種多様。彼らが織りなす人間関係は、現代イタリア社会の縮図とも言える。原作は実際に高校教師を兼業する作家マルコ・ロドリのエッセイ集『赤と青 ローマの教室でぼくらは』。現場の人間の確かな筆致を、ベテラン監督ジュゼッペ・ピッチョーニが見事に映画化した。



©2011 BiancaFilm

6/21(火) 19:30

『俺は平凡イタリアン』

Italiano medio

2015年 / イタリア / カラー / 86分

監督: マッチョ・カバトンダ 配給: Medusa Film

厳格なエコロジストのジュリオ・ヴェルメは、社会問題に無関心な一般人に日々苛立っているのだが、その行き過ぎた言動には、ガールフレンドのフランカも愛想をつかしてしまうほど。失意のジュリオは自暴自棄になり、友人に勧められるまま、ある錠剤を口にする。それは人間の脳の働きをわずか2%に抑える魔法の薬だった… 脳の働きを100%に引き上げる薬が登場するアメリカ映画『リミットレス』のパロディーなのだが、そもそものは実在するテレビのパラエティ番組の1コーナーで、架空の映画の予告編を紹介するという企画から生まれた。このコーナーを担当していた芸人マッチョ・カバトンダは、本作で主演と監督を務め、映画界に独自の笑いを持ち込んだ。

日本
初公開



©2015 Medusa Film

「映画で旅するイタリア2016」特設ページ <http://www.uplink.co.jp/event/2016/43382> ※各回、終映後に京都ドーナツクラブ代表・野村雅夫によるトークショーを行います。

お得な **前売オンラインチケット発売中**

前売一般 1,500円 前売UPLINK会員 1,300円

詳細・7月以降のプログラムは [UPLINK HPイベント特設ページ](#) にて

当日一般 1,800円 当日UPLINK会員 1,300円

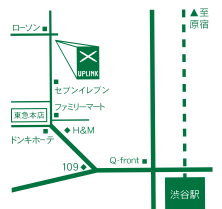
渋谷東急本店右側道200m先

渋谷アップリンク

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川37-18

03-6825-5503 www.uplink.co.jp

整理番号入場・全席自由・各回入替制



【上映・イベントについてのお問い合わせ】TEL 03-6825-5503 factory@uplink.co.jp

映画で旅するイタリア2016